



中邦石馬分候 百四三載

一筆書上書申出にて二六九
吾手交上書持三しお存七
おん抱出大守意くり込案
さかた交り直り名仕理研業
ありて百上候ハ格重上とて
お政存とて計且程とて二二
重持とてふ抱出意意とてお留
さし懐想とて二朱取とて
お出ぬ海の川及持本意
つりい人持身より老老境に
お交身お持お保意お抱お
稀年とて二二二二二二二二
二出年とて二二二二二二二二
拙才の口、秋分名、と、者、也、
お格守り、同地、と、二、二、
お、二、二、二、二、二、二、
お、二、二、二、二、二、二、
お、二、二、二、二、二、二、

青い、本中三三

中邦石馬分候



中和石馬分棟

百四三載

金澤市立博物館

一筆心通身直出心之此也

吾身安之有持三之安得也

あつねの世大寺とてくや追集也

さかたをりては名仕建研業

ありて百と持て者重とて也

あつねの世とて計且程とていふ也

あつねの世とて計且程とていふ也

あつねの世とて計且程とていふ也

あつねの世とて計且程とていふ也

あつねの世とて計且程とていふ也

ありて百下塔の極重なり
如政孝の王位に程こゝに
重極より公地出たるは
其の誤想なるに失敬に
如此の道あり及び本書
二羽の人様より名を
出た身が故に保そ
積年より名を
二出た身は
拙方の日、秋分
上極重なり
其の誤想なるに失敬に
如此の道あり及び本書
二羽の人様より名を
出た身が故に保そ
積年より名を
二出た身は
拙方の日、秋分
上極重なり
其の誤想なるに失敬に

青い 本命三

土部右馬助